

平成30年度 予算総額 216億1,207万円

平成30年度予算は、対前年度比でプラス3.9%、8億318万円
の増となっています。

主な事業としては、「子育てオフィス実証事業」「公立病院統
合検討事業」「天山地区共同環境組合事業（建設）」「まちなか
市民交流プラザ整備事業」「牛津まちなかにぎわい広場整備事
業」「牛津駅周辺整備事業」「牛津子育て支援集合住宅整備事
業」などを計上しています。

※グラフの（ ）内は構成比。構成比は、端数処理の関係上、一致しない場合が
あります。

平成30年度 小城市

予算

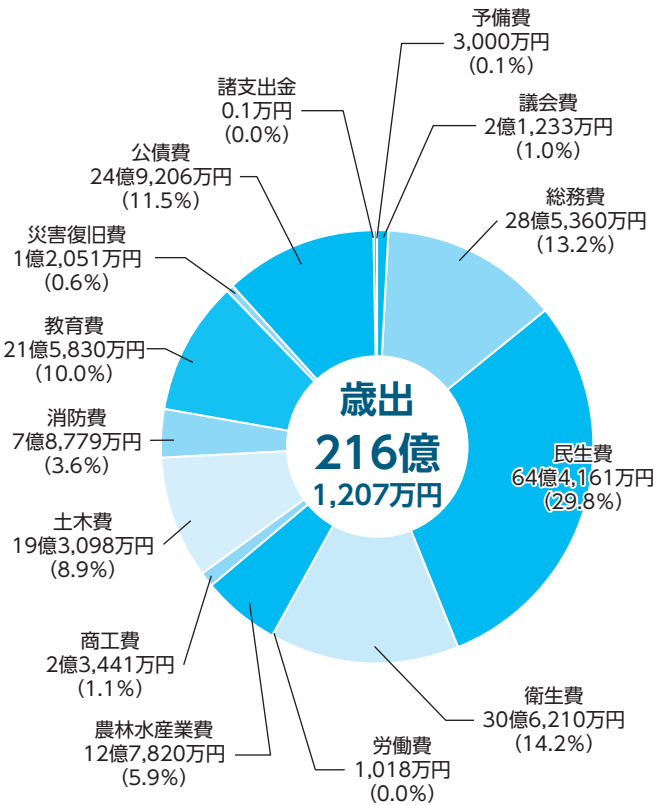
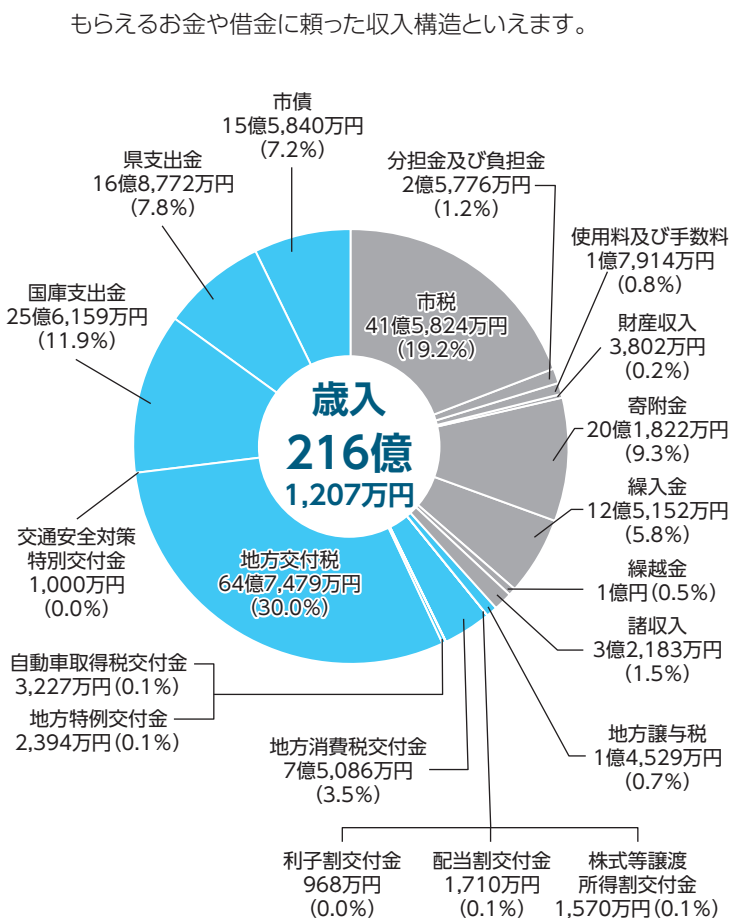
歳入

財政基盤を安定させ、市民のニーズに応じた自主性の
ある行政サービスを提供するためには、一般的に「**自主
財源**」の割合が高いほど望ましいと考えられています。

市の収入総額216億1,207万円のうち、「**自主財源**」
が占める割合は83億2,473万円で38.5%、「**依存財源**」
が132億8,734万円で61.5%となっており、国や県から
もらえるお金や借金に頼った収入構造といえます。

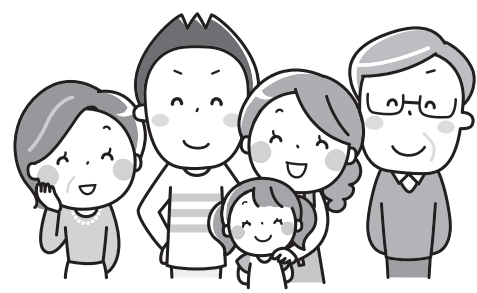
歳出

民生費（市民の生活と安定した社会生活を保障する
ための経費）、教育費（小・中学校、公民館事業など
に関する経費）など、その目的によって区分した予算
を「目的別予算」といいます。



■ 自主財源…市が自ら徴収することができるお金のこと。
市税や施設の使用料、各種手続きの手数料など。

■ 依存財源…国や県から交付されるお金や借金のこと。
地方交付税や補助金、市債など。



今年度の主な事業

小城市総合計画の政策ごとに平成30年度の主な事業を紹介します。

ふ…このマークがある事業は、全国の皆さんから頂いたふるさと納税(寄附金)を活用している事業です。

政策① 住みたい!と思う 笑顔が集まるキレイなまち

計画的な土地利用の推進と効率的な都市づくり

移住・定住対策事業 6,496万円

定住人口の確保と地域の活性化を図るため、住宅取得奨励金制度の拡充や、進学、就職、結婚などを機に市内に転入される人を対象に、奨励金をお渡しする転入奨励金制度を開始します。

牛津まちなかにぎわい広場整備事業 296万円

都市再生整備計画に基づいて、赤れんが館周辺に、にぎわい広場を整備するための測量調査を行います。

牛津子育て支援集合住宅整備事業 1,500万円

都市再生整備計画に基づいて、PPP/PFI事業を活用した子育て支援集合住宅の整備に向けての調査を行います。

まちなか市民交流プラザ整備事業 5,240万円

課題となっていたまちなか市民交流プラザの駐車場不足を解消するため、駐車場を整備します。

牛津駅周辺整備事業 4,894万円

都市再生整備計画に基づいて、牛津駅周辺に自由通路や駅南広場を整備するための測量調査や基本設計を行います。

下水処理の充実

小城処理区事業 4億2,705万円

小城処理区内の幹線管渠^{かんきょ}や枝線管渠を整備します。

循環型社会の形成

天山地区共同環境組合事業(建設) 8億4,699万円

可燃ごみ焼却施設の建設、維持管理および施設の運営を多久市と共同で行うために必要な費用を負担します。



▲可燃ごみ焼却施設イメージ図
(建設予定地：多久市 旧ゆうらく屋外プール跡地)

政策② 安全に みんなが行き交うまち

道路の保全と交通網の充実

道路新設改良事業 6,396万円

安全性と利便性を確保するため、平成30年度は市内3路線の道路拡張および歩道設置工事などを行います。

社会資本整備総合交付金事業(橋りょう補修) 6,100万円

橋りょう定期点検の診断結果を基に、平成30年度は、市内の5橋の測量・設計、4橋の補修工事を行います。

スマートインターチェンジ整備事業 2,096万円

平成30年3月31日に開通した長崎自動車道小城スマートインターチェンジの事業効果の調査や、附属施設の整備を行います。



小城スマート
インターチェンジ▶



政策3 歴史、文化と歩いていく 自然豊かなまち

歴史の継承、文化・芸術の振興

小城明治維新150年記念事業 1,085万円

幕末・維新时期を中心とした小城の偉業・偉人を顕彰する展示会、講演会、案内表示板設置、映像資料の制作などを行います。

小城維新探検隊 [検索](#)



政策4 みんなが健やかで 生きがいを感じるまち

保健・医療の充実

公立病院統合検討事業 1,136万円

小城市民病院と多久市立病院との統合を前提とし、統合病院の建設候補地の選定に係る調査を実施し、統合の可否を協議・判断します。

胃がん検診事業 972万円

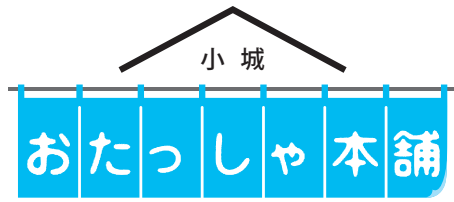
胃がんを早期に発見し、早期治療に結びつけるため、集団での胃透視検査(バリウムによるX線検査)と、50歳代と60歳代の偶数年齢の人を対象に医療機関での胃内視鏡検査(胃カメラ)を実施します。

政策5 みんなでささえあう やさしいまち

高齢者福祉・介護の充実

地域包括支援センター運営事業 1,769万円

現在、市内2カ所の地域包括支援センターに加え、平成30年4月から小城市直営の「小城市地域包括支援センター(おたっしや本舗小城)」を設置します。



政策6 子どもが自分らしく 笑顔で育っていけるまち

子育て支援の充実

子育てオフィス実証事業 2,700万円

子どもと一緒に出勤できる託児スペースを備えた「子育てオフィス」を整備し、その結果を実証しながら働き方改革を推進します。

子どもの医療費助成事業 1億5,851万円

0歳から中学生を対象に、医療費を助成します。

子ども支援の充実

放課後児童健全育成事業 1億4,741万円

保護者が労働などで昼間家庭にいない小学生に対し、授業終了後に遊びや生活の場を提供します。

学校教育、幼児教育・保育の充実

保育所等整備補助事業 1億9,290万円

認定こども園施設整備事業 1億769万円

教育・保育のより良い環境を整備するため、市内私立園の施設整備に係る費用の一部を補助します。



政策7 地域の資源を活かし 企業も市民も元気なまち

農林業の振興

米・麦・大豆振興対策事業 745万円

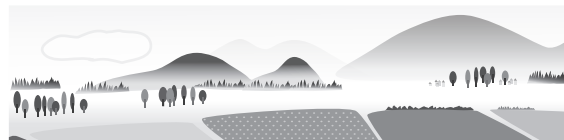
水田農業に必要な機械・施設の整備などに対し、補助を行います。

林道維持補修事業 1,889万円

林道橋りょう点検診断結果に基づき、老朽化の激しい林道江里山線の堂徳橋の補修工事を行います。

農業基盤整備促進事業 8,522万円

農業競争力の強化を図るため、平成30年度は市内3地区の農業用用水路を整備します。



政策8 幅広い交流を深め にぎわいのあるまち

協働によるまちづくりの推進

協働による地域の自治機能向上事業 320万円

地域課題を解決し、地域活性化に向けた取り組みを行う「住民主体のまちづくり」を支援します。



三里まちづくりワークショップの様子▶

政策9 市民みんなが観光ガイド！ ひとがひとを呼ぶまち

観光の振興

地域観光資源活用空間創出事業 503万円

11月上旬に自治体・企業・各種団体などの協力を得てさまざまなイベントを集中させ、観光客への周知を行い特産品のPRおよび物販を行います。

インバウンド対策事業 128万円

佐賀県を訪れる外国人が増加する中、外国人観光客が不自由なく市内を観光できるよう、外国語パンフレットやWi-Fiなどの環境整備を行います。

政策10 ひとりひとりの力を合わせて防犯・防災 安心して暮らせるまち

防災・減災体制の充実

耐震対策補助事業 634万円

昭和56年5月31日以前の木造住宅について、耐震診断費用の補助を行います。また、その後、耐震改修工事が必要な場合に対しても補助を行います。

防犯体制の充実

LED防犯灯設置補助事業 501万円

行政区が設置するLED防犯灯設置の経費に対し、その一部を補助し、市内防犯灯のLED化を推進します。

計画推進のための行政経営

健全な財政運営の推進

ふるさと納税推進事業 13億2,935万円

ふるさと納税の推進をするとともに、一定額以上の寄附をされた市外在住者に、寄附金額に応じたお礼の品として「小城特産品」をお送りします。

業務執行体制の充実

市有財産等管理事業 5,195万円

旧芦刈庁舎跡地周辺について、駐車場や通路、排水路などの整備を行います。

